

モニタリング結果報告書 (令和4年度)

1. 施設概要

施設名	あいかわ公園		
所在地	愛甲郡愛川町半原		
サイトURL	http://www.aikawa-park.jp		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（平成14年4月）		
指定管理者名	公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団		
指定期間	R4.4.1～R9.3.31 (2023年) (2028年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (厚木土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価（利用状況、利用者満足度、収支状況）に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。	
利用状況の評価はB、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はBで、3項目評価はAとなった。 利用者数は、新型コロナウイルス感染症対策のため大型イベントを中止したことにより減となり、目標値には達しなかったが、前年度利用者数を上回った。また、利用者の満足度は極めて良好だった。収支状況については、新型コロナウイルス感染症の影響で工芸工房村の利用が伸び悩み、収入減となったが、経費節減に努め、収支差額の縮減を図った。 今後も、公園管理の基本となる着実・丁寧な植物管理や施設管理等の取組を継続し、引き続き、利用者の満足度の高い公園管理に努めてもらいたい。	
<各項目の詳細説明>	
◆管理運営等の状況 特に「利用促進のための取組」に力を入れており、例年、宮ヶ瀬ダム周辺施設のひとつとして観光型イベントを四季折々に実施していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、つつじまつりを中止した。その他、いつ来園しても楽しめるよう、公園の特性を活かした自然観察ガイドや、園内周遊ラリー、ふれあいミニ動物園、など、魅力あふれるイベントを、人が集中しないように催行方法を工夫して開催し、事業計画書の内容どおりの取組をできる限り目指した。 植物管理では、利用者が減少した時期に、効率的に除草や支障木伐採等の大がかりな作業を進めたことにより、作業時間の短縮、コスト縮減を図ることができ、安全性及び景観性を向上させた。	
◆利用状況 園内の花・鳥の様子や開花時期、閑散期である冬季の景色の魅力をSNSを活用して日々発信し、積極的に広報活動に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数の目標達成率86.4%でB評価となった。前年度比は124.1%で、利用者数はプラスとなっている。	
◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が94.6%となったためS評価となった。	
◆収支状況 新型コロナウイルス感染症対策に伴う駐車場収入及び利用料金収入の減、原油価格高騰に伴う電気代等の高騰及び施設修繕の増による支出の増があった。収支比率が98.1%となったためB評価となった。	
◆苦情・要望等 1年間で7件寄せられたが、ソフト面についてはすぐに対応し、ハード面については県と調整を図りながら対応し、サービスの向上につなげた。	
◆事故・不祥事等 11月3日にふわふわドームでの負傷事故（5才男児右肘骨折）が発生した。12月9日の月例モニタリング時に指定管理者から報告を受け、県は同日現場で状況確認を行った。事故の原因は遊具周辺の砂地の硬化で、指定管理者は再発防止に向け、遊具周辺砂地のほぐし作業を月2回から毎日に変更し、月2回の定期点検項目に「砂の柔らかさの確認」を追加し、12月に利用中止した遊具を対策後の3月に利用再開した。	
◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。	
◆その他 なお、令和4年度の3項目評価についてはA評価としたが、今後も、公園管理の基本となる着実・丁寧な植物管理や施設管理等の取組を継続し、引き続き、利用者の満足度の高い公園管理に努めてもらいたい。	

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	B	S	B	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	週に1回程度	県と指定管理者との間でコロナ禍における施設の管理運営上の課題等を情報共有するとともに、指定管理業務について意見交換した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
地域と連携した大規模イベントの実施 ・財団が行う観光型イベントの実施	地域と連携した大規模イベントの実施 ・財団が行う観光型イベントとして地域と連携した「みやがせフェスタ」を実施した。 <未実施事業> ・「あいかわ公園つつじまつり」	公園の多様な魅力を知っていただく機会となるイベントの開催については、一部中止したイベントもあるが、新型コロナウイルス感染症対策のための実行委員会の判断で、やむを得ない。
地域と連携した魅力ある施設づくり	愛川町郷土資料館との連携で「自然観察教室」(11回) 941人、「キングオブあいかわ」を開催した。	
利用促進のための取組 ・園内でのイベントを定期的に開催	ふれあいミニ動物園(月1回) 5,460人、自然観察ガイド(38回) 214人、ムササビ蝙蝠観察会(11回) 165人、マンスリーチャレンジ(毎日) 14,826人、七夕(6/25~7/10) 18,414人、ハロウィン(10/29~31) 588人、クリスマス(12/24, 25) 474人、缶バッチプレゼント(毎日) 5,114人	いつでも気軽に参加できるイベントで、リピーターも多く好評。今後も継続して開催が望まれる。
施設の維持管理	木製工作物、階段、柵等の修繕、高圧洗浄機による舗装清掃、日々の鹿糞の除去・池の清掃等、管理員による直営管理を実施した。	
工芸工房村事業の具体的な提案 ・公園から発生する木や竹等を活用した教室の開催 ・地域の伝統文化の発信	・公園から発生した木竹を使用したベンチやイス等の製作教室を開催し、製作教室中止期間には、体験できない人の為の体験作品の製作・販売を実施した。 ・地元団体の協力により愛川町に古くから伝わる伝統工芸「中津ほうき」の制作体験イベントを実施した。	

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	279,909	306,174	379,987
対前年度比		109.4%	124.1%
目標値	500,000	500,000	440,000
目標達成率	56.0%	61.2%	86.4%

目標値の設定根拠： 提案書記載の目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症対策として、利用者が多い観光型イベント「あいかわ公園つつじまつり」を中止したため、目標値440,000人の利用者に対し、60,013人の減となった。

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは2回実施。	協定に定めた年間2回を11月と3月に実施した。前年度に比べ「満足」と回答した割合が3.7%減少した。しかし、不満の理由は公園外の観光放流に関するものもあり、公園内利用については「満足」回答率94.6%が高かった。

〔 サービス内容の総合的評価 〕

質問内容 本日、ご来園されて、あいかわ公園に満足いただけましたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 186 / 200 = 93.0%

配布(サンプル)対象 来園者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	154	22	6	3	1	186	観光放流中止の連絡が遅い 乗り物が動いていなかった。 月曜日はほとんどが休み 自販機が使えなかった。
回答率	82.8%	11.8%	3.2%	1.6%	0.5%		
前年度の回答数	102	10	2	0	0	114	
前年度回答率	89.5%	8.8%	1.8%	0.0%	0.0%		
回答率の対前年度比	92.5%	134.8%	183.9%				

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々 年度	当初 予算	107,658	10,304	35,992	駐車場32,492 自販機3,500	153,954	153,954	0	
	決算	112,313	3,697	20,872	駐車場17,968 自販機2,904	136,882	137,178	-296	99.78%
前 年度	当初 予算	111,193	10,304	35,992	駐車場32,492 自販機3,500	157,489	157,489	0	
	決算	114,763	5,197	22,382	駐車場19,162 自販機3,220	142,342	138,730	3,612	102.60%
令 和 4 年 度	当初 予算	111,148	11,585	34,005	駐車場29,868 自販機4,137	156,738	156,738	0	
	決算	111,148	9,253	32,655	駐車場28,999 自販機3,656	153,056	156,059	-3,003	98.08%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	メール	4 件	①(9月)当公園のふわふわドームで骨折した件について、注意喚起のため情報提供。 ②(11月)ふわふわドームで骨折した時の管理体制はどうなっていたのか。 ③(11月)ふわふわドーム管理体制の改善を要望。 ④(1月)マスク着用掲示の見直し要望。	①対策を検討。 ②警備員を配置し、ドームごとに年齢と利用人数を制限していた。 ③警備員を1名→2名に増員して人数制限指導を強化した。注意看板を目立つ所へ設置した。 ④マスク着用掲示物を撤去した。
		件		
職員対応	メール	3 件	①(4月)駐車場内を自転車で走行時に係員に注意された。 ②(4月)係員から高圧的に注意された。 ③(11月)管理員の視線が嫌な感じだった。犬の散歩時の糞も気になる。	①事故防止の観点から自転車の走行は控えてもらっている旨を説明した。 ②対応方法について係員に指導した。 ③来園者が不審に思うような行動はしないよう指導した。巡視して糞を発見した場合は回収している。
		件		
事業内容		件		
その他		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
11月3日	①当日は大変混雑し多くの子供たちが飛んだり跳ねたりしており一時的に人数制限を超える状況で、5歳の男の子が隣にいたお子さんと飛びはねていたところ、タイミングがずれ、勢いがついて体が高く上がって宙に浮いて不時着、固い部分（周りの砂地と思われる）に強打してしまい右肘を骨折した。 ②12月9日、当該遊具周辺の砂地状況を確認した。 ③混雑が予想される日曜日等は警備員を2名にして、遊具の入口で人数制限をするとともに、危険な遊び方をしているお子さんがいないかなど、より注意深く監視するよう警備委託業者に要請した。 併せて、砂地のほぐし作業を月2回から毎日に変更し、月2回の定期点検項目に「砂の柔らかさの確認」を追加した。 12月28日から緊急点検のため利用を中止し、対策後、3月17日に利用再開した。 ④11月4日に管理体制について当事者から指摘した。 ⑤遊具周辺の砂地の硬化。費用負担なし。 ⑥記者発表なし。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。